

# 可決された案件 (要旨)

◎全員賛成 ▼賛成多数

番号法の施行に伴い、通知カード及び個人番号カード再交付に係る手数料を定め、住民基本台帳カードの交付を廃止するもの。

## ◎福生市介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険料の減免に係る申請期限を改めるもの。また、総務省からの身体障害者等に対する軽自動車税の減免に係る申請期限の見直しのあわせんを受け市税、国民健康保険税と同様に改正する。

## ◎福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の減免に係る申請期限及び課税の特例に関する規定の施行期日の一部を改めるもの。

## ▽平成27年度福生市一般会計補正予算(第2号)

もくせい会館建設事業、防災食育センター整備事業及び決算剰余金の積立などにあたり、歳入歳出予算、併せて債務負担行為並びに地方債を補正する必要が生じたため、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億4154万9千円を追加し、40億2863万円とするもの。

## ◎福生市都市計画税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、引用する規定を整備するもの。

▽福生市手数料条例の一部を改正する条例

にあたり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億3594万8千円を追加し、83億7794万7千円とするもの。



▲マイナンバーの通知をお知らせするチラシ

## ◎平成27年度福生市介護保険特別会計補正予算(第2号)

平成26年度の介護給付費等の確定に伴い、介護保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金及び一般会計からの繰入金などの収入済額と、介護給付費等の確定による実績額との過不足額の精算を行うため、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億4154万9千円を追加し、40億2863万円とするもの。

## ◎平成27年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)

平成26年度の繰越金の確定とその繰越金を基金へ積み立てるため、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6317万5千円を追加し、17億8382万3千円とするもの。

## ▽平成27年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

平成26年度福生市国民健康保険特別会計の決算に伴う繰越金並びに療養給付費等負担金等の精算

## ▽平成26年度福生市一般会計決算認定について

予算現額は、当初予算に6回の補正を行い、歳入歳出ともに232億8449万2千円となった。歳入決算額は、235億4652万5657円で、予算現額に対する収入率は101.1%となり、前年度比1.8%の増。歳出決算額は、224億2453万7477円で、執行率は96.3%、前年度比1.9%の増で歳入歳出差引残額は11億2198万8180円となった。

## ◎平成26年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

予算現額は、当初予算に1回の補正を行い、歳入歳出ともに11億782万2千円となった。歳入決算額は11億534万530円、予算現額に対する収入率は99.8%で前年度比8.0%の増。歳出決算額は10億7688万5679円で、執行率は97.2%、前年度比11.3%の増で、歳入歳出差引残額は2845万4374円となった。

## ◎平成26年度福生市下水道事業会計決算認定について

予算現額は、当初予算に1回の補正を行い、歳入歳出とも18億426万9千円となった。歳入決算額は17億727万9928円で、予算現額に対する収入率は98.3%、前年度比6.9%の増。歳出決算額は16億7960万5654円で、執行率は93.1%。前年度比で9.4%の増となり、歳入歳出差引残額は9317万4274円となった。

## ◎福生市教育委員会委員の任命について

渡辺浩行氏の任期満了に伴い、同氏を再任することに同意するもの。

## ◎福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について

佐藤正明氏の任期満了に伴い、同氏を再任することに同意するもの。

# 討論

## ●平成26年度福生市一般会計決算認定について

反対

アベノミクスは市民生活の先行きを一層不安にさせ、安倍政権の暴走が続いた。基地機能強化も一層進み、市内住宅地上空の飛行訓練増加は深刻で、今こそ基地撤去を求める立場に立つことが求められる。CO2削減、再生可能エネルギーの活用については、もっと大胆に市民にアピールできる取り組みを期待していた。中小企業、商店や小規模事業者の多くが耐えがたい状況に追い込まれている現状や、市民生活を守ることに、対応不十分と言わざるを得ず、敬老金支給削減も、高齢者への感謝が感じられない。子育て中の若い方々も非正規雇用で追い込まれており、給食費無料化などで応援すべきであった。駅前自転車駐車場無料化や循環バスなど、生活しやすさを提供する点でも不十分であった。

教育は、中学校給食実施に向けた取り組みは大きい評価だが、教育条件整備や経済的弱者対策、少子化・人口減少対策への取り組みの弱さなど、大きな問題を抱えていることから、反対する。

平成26年度一般会計決算の歳入総額は前年度比1.8%増、歳出総額は同1.9%増で、実質収支額は約11億1717万円となった。当年度予算執行状況は収入率101.1%で、これは市民税等の収納強化、税外収入確保の努力や、景気の回復基調なども要因となった。大規模事業を除くと第5次行政改革大綱の目標に達しており、評価する。大規模事業では、防災食育センターの平成29年9月稼働を目指して積極的に取り組んでいる。また、第4期総合計画、前期基本計画の最終年として進捗評価、現状と課題の整理を行い、重点施策や今後の方向性を明確にした。行政評価実施要綱に基づく施策評価では、明確化した課題に対する基本事業の修正を行い、修正後期基本計画に反映した。

教育施策では学力向上も確認でき、教育センター事業では不登校に関する取り組みで効果も出た。効果的・効率的な施策の実施が確認でき、オール福生で取り組む姿勢も表れた。市長、教育長の積極的な姿勢も大いに評価し、賛成する。

そのほか次の議案に対しても討論がありました。  
●福生市個人情報保護条例の一部を改正する条例  
●平成27年度福生市一般会計補正予算(第2号)  
●平成27年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)  
●平成26年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

平成26年度は、消費税

が5%から8%へ引き上げられたが、地方消費税交付金は、社会福祉、社会保険、保健衛生などの事業に適切に充当された。厳しい財政運営のもと、後年に負担を残さぬよう基金の取崩しを行わず市債の発行を抑え、最少の費用で最大の効果を得る姿勢を評価する。